

- 有機農産物の販路拡大や新規就農者の確保等により有機農業の面積拡大するとともに、**地域ぐるみで環境負荷低減に取り組むモデル地区（特定区域）**を設定し、化学肥料・化学農薬の使用低減や温室効果ガスの排出量の削減の取組等を推進する。

【作成主体】 島根県及び県内全19市町村

【計画の主な目標】

・有機JASの面積シェア1.0%以上を実現

＜有機JAS認証ほ場の耕地面積割合（有機JAS認証ほ場面積）＞
2019年 0.4%（155ha） ⇒ 2024年 1%（370ha）

【取組のポイント】

- ・化学肥料・化学農薬の使用低減や温室効果ガスの排出量の削減の取組を推進
- ・更なる販路の拡大や新規就農者の着実な確保を図ることで、有機農業を拡大
- ・燃油使用量の削減等を可能とする林業機械、高性能漁船の導入により燃料燃焼由来の二酸化炭素の発生を抑制

【特定区域の設定】

＜浜田市（全域）＞

協定締結企業と連携した技術の普及や地域内未利用資源（もみ殻燻炭等）の地域内循環の仕組みづくりによる有機農業の拡大

＜江津市（全域）＞

学校給食への有機農産物の活用促進や有機農業の団地化による生産拡大

＜美郷町（全域）＞

営農型太陽光発電で得られた電気の施設園芸等への活用による温室効果ガス排出量の削減に資する生産活動の推進

＜津和野町（須川地区）＞

牛糞や竹チップなど地域資源を活用した土づくり等による有機農業の拡大

取組のイメージ



有機農業の中核産地を中心とする取組拡大



首都圏での島根県産有機野菜の販売促進